

地域貢献WG

田原 俊司

I 活動の概要

本年度の地域貢献ワーキンググループ（以下 WG）は、主に

- (1) パソコンを組み立ててみよう講習会
- (2) 大学開放イベントへの参加

の2つの活動を行った。(2)大学開放イベントへの参加 については WG 全員で取り組み、(1) パソコンを組み立ててみよう講習会 については有志 6 人でグループを組んで開催した。

II 活動内容

(1) パソコンを組み立ててみようグループ活動内容

1)-1 パソコンを組み立ててみよう講習会

年間 5 回の講習を計画したが第 4 回に参加者がなく実質 4 回の実施となった。また、後学期に開催した講習会は、教室の改修のため福祉環境工学科メカトロニクスコースの部屋を借りて実施した。

また、今年度は新しい機材（CPU・マザーボード・メモリー・OS）を導入して講習会を行った。

1)-2 短期業務依頼（教育支援業務）があり以下の内容で行った。

日時 1月22日（火）23日（水）24日（木）の3回の指導

対象 学部4年生，M1学生 計6名（2名ずつを対象に3回）

場所 工学部 福祉環境工学科メカトロニクスコース

(2)大学開放イベントへの参加

2)-1 大学開放イベント用補助学生の動員

例年、地域貢献 WG の技術職員は、長期業務依頼先のイベント参加との兼ね合いで、イベント当日は技術部の企画に参加できないメンバーが多く、人員不足気味であった。そのため、昨年同様大学開放イベントにおいて補助学生を雇うことが可能であったので、5名の学生をスタッフに編入した。したがって、イベント当日地域貢献WGメンバー以外からの技術部職員の応援動員は不要であった。

2)-2 工作に関する安全性への取組み

大学開放イベントに関しては、対象者を小・中学生以下と考えている。よって工作中的の事故防止等の安全対策には万全の注意を払って取り組んでいる。たとえば

- ・工作には原則として参加者が刃物を扱う必要が無いように、予め下準備をする。

など、考えられる事態の対応策を講じた。

Ⅲ 活動の実行と結果

各活動は

- ・(1)パソコンを組み立ててみよう講習会： 西村 電気・電子工学系前任技術専門職員
- ・(2)開放イベント： 赤峰 電気・電子工学系第1技術班長

の2名が、夫々実行指導者としてスタッフを指揮し、地域貢献WG活動を行った。活動結果としては、(1)パソコンを組み立ててみよう講習会は学科との業務上のトラブルも無く、参加者から好評を得た。また、(2)の大学開放イベントは事故も無く、集まった多数の参加者の好評の中、無事終了することが出来た。

Ⅳ 活動の詳細

詳細は、下記のページに記載している。

○イベント報告

- ・大分大学学内イベント

○技術講習会

- ・パソコンを組み立ててみよう